様式２
（2019年度）

事業実績報告書

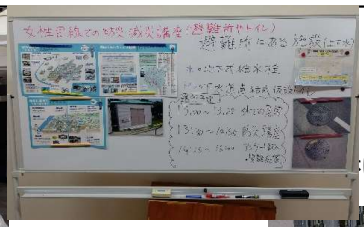
※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-64	講座名	地域の防災リーダーのための、災害とボランティアに関する勉強会
記載日	2020/3/31	団体名・企業名	災害ボランティアちくさネットワーク

〈講座全体の概要〉(300字程度)

自治会長や町内会長をはじめとする地域の防災リーダー向けに、災害や防災、災害ボランティアや災害ボランティアセンターについて、深く知っていただくための講座です。リーダーだけでなく、普通の市民も気軽に受講できます。初回は名古屋市を襲う災害について、２回目はその災害後に避難する避難所とそこに持っていく持ち出し袋について、３回目は女性向けの防災講座を、４回目は災害後に被災地に参集される災害ボランティアと被災者を引き合わせする災害ボランティアセンターについて、お伝えいたします。

[セル内での改行]は
Alt+Enter で出来ます！



※写真1の説明	※写真2の説明
2019/12/21　千種区池下の乗西寺で、避難所と持ち出し袋の講座を実施しました。持ち出し袋は、実際に避難する際に持っていくもので、参考になったかと思います。	2020/1/18 千種区の水の歴史資料館にて、女性向けの防災講座を実施しました。資料館の職員様の解説や地下式給水栓、下水直結式の簡易トイレの実演もあり、大変勉強になりました。

←実施日、開催場所、様子についてなどを、簡潔にお書きください

〈 企画・運営者の声（感想）〉(350字程度)

今回は、地域の町内会長や女性向けの防災講座を企画・実施しました。初回は名古屋市を襲う災害について、２回目はその災害後に避難する避難所とそこに持っていく持ち出し袋について、３回目は女性向けの防災講座を、４回目は災害後に被災地に参集される災害ボランティアと被災者を引き合わせする災害ボランティアセンターについて、講座を開催できました。下は大学生から、上は７０代後半の方まで、また男女問わず、防災に関心のある方に受講していただき、少しずつ啓もう活動ができたと思います。特に、３回目の女性向けの防災講座の時は、１１名の受講者を記録し、大変好評でした。２０２０年度はまた後期に地域の現状に合わせ、集合住宅の災害対策などの講座を企画して、より多くの方に名古屋市を襲う災害とそれに対する防災の講座を実施してまいりたいと思います。

〈 受講者の声(実感した反応及びｱﾝｹｰﾄより）〉(3～5点、計350字程度)

・実際の被災地に行かれた方の話は具体的でよかった
・全員参加型でよかった
・話を聞くだけでなく、ほかの参加者の方の意見が聞けて良かった
・災害ボランティアセンターについて理解できた
・役割が書いてあるビブス（ベスト）はよい